

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Tomo de coco Fère 児童発達支援					公表日	令和7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				・2階のフロアに物を極力置かないようにして、スペースを確保している。 ・和室となっている学習室は、子どものクールダウン時にも用いられ落ち着くことが出来るようになっている。	年上のお子様が多いため巻き込んで怪我をしないよう注意して見ておく必要がありますが、法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1			子どもの特性や人数に合わせて職員を配置出来ていると感じている。	法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2			・階段が急なため、上り下りには職員が毎回一緒に行くようにしている。 ・カラーカーペットを用いて、活動スペースを視覚的に区切っている。	活動場所が2階であるため、階段では手を繋ぐなどの補助が必要です。又、学習と活動のスペースを分けます。アコーディオンカーテンの使用等で構造化を図っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	6				・掃除担当を毎週決めているが、担当でない職員が率先して気付いたら箇所を掃除している。 ・毎週しっかりと掃除をする日を決めています。 ・定期的な清掃を行い、掃除機をかけたり消臭をするなど目に見えるゴミだけではなくにおいにも気をつけている。	毎日の清掃・消毒により清潔維持に努めています。又、机 やイスなど利用児が触れる箇所の消毒を随時行っています。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				・日の当たる所に作っている。 ・子どもからの要望があれば着替えたり、個別で学習できたり、クールダウンできたりする部屋がある。	主な活動場所以外にも、扉で区切られた個別の和室や、カラーマットを用いて視覚的に活動スペースを区切っており、子どもの必要に応じて使用して頂きます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		1		・報連相がたまに抜けていることがあり、同じミスをしないように新たな改善点を一段とって提案し実行することができている。 ・6ヶ月ごとに行われる自己評価シートがあり、日々の業務だけでなく自分で目標を設定して達成できるよう努め、管理者と面談を行うなどの振り返りを行っている。	朝のミーティング、帰りの申し送りなどスタッフ間で情報の共有をしています。また、定期的ケース会議を実施しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				全体のミーティングで保護者様に向けた評価表の結果を共有している。	保護者様に事業所評価アンケートの他、休日イベントの内容についてもアンケートを実施し、事業所の質の向上に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				・定期的な面談を行い、管理者と意見を共有している。また日々の業務に関する意見を気軽に言えるような雰囲気がある。	管理者と定期的な面談を行い、意見等の共有を行っております。また、朝や夕方にミーティングを行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2				現在は保護者様・社内の2者評価となっております。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			外部から専門の先生をお呼びして療育に対してより専門的な知識を得る機会がある。	年間研修計画を策定し、職員の質の向上に努めています。また、外部講師やトモデコ顧問による研修の機会も設けています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		1		子どもたちの特性に合わせた療育内容を日々追求し、実施している。	当社ホームページにて公開しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1			保護者からの話を聞くだけでなく、実際の子どもたちの言動や行動を見て分析された計画書であると感じている。	計画期間ごとにアセスメントを取り、児童発達支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		1		日常業務の中で子どもの状況を頻繁に職員間で共有しており、その子どもに今何が必要かを話し合っている。	職員間の共通理解を図りながらお子様に応じた項目を設定し、計画を作成しております。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		1		全ての職員がいつでも確認できるようにファイリングをされている。	計画に応じた支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	1			日々の行動観察により、子どもの適応行動の状況を確認しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					お子様に応じた項目を設定し、計画を作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2			子どもの特性に合わせたプログラム内容かどうか職員間で話し合うことが多い。	職員間で話し合いをした上でプログラムを立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1			同じプログラム名であっても、前回と少し内容を変えたり、新たなルールを設けたりなど固定化しないようにしている。	お子様の発達状況に応じて、必要なプログラムを追加・修正しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		1			1対1による個別指導、他者とのかわりの中で成長を促す集団指導を適切に組み合わせた療育を展開しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		1			朝のミーティングを行い、職員間での情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	1		職員間で話し合いを行い、改善点や気づいた点などを踏まえて次回の支援に繋げている。	お子様が帰った後、職員間での情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		1			毎回指導記録をとることで指導内容や方法を検討しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		1			定期的にモニタリングを行い、計画の見直し・修正を行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6					子どもの状況をよく理解した者が電話や対面での報告を実施しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6					地域の関係施設と連携して支援を行えるよう体制を整えています。
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				学校や園に送迎に行った際に、情報をその都度共有することができている。	移行支援の事例はありません。必要であれば今後取り入れていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			2	就学時の移行を経験したことがない	移行支援の事例はありません。必要であれば今後取り入れていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
31	(31は、事業所のみ回答)							
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2	2	1		相談支援員とのモニタリングの際などに相談・助言を受けています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	2			公園で、障害のないお子様との交流があることもございます。	

保護者への説明等	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1			お迎えの際にその日の子どもの様子だけでなく、家庭での状況などを保護者と話している。	保護者様のお迎え時、お子様の状況をお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		1		年に2回程度、保護者会を実施し、保護者同士の情報共有や外部講師を呼んでの研修などを行っている。	事業所内のペアレントトレーニングは行っておらず、県内関係機関の主催するペアレントトレーニング研修に参加出来るよう調整してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6					契約時だけでなく、それ以降も保護者から疑問点や不安なところがあれば説明を行っている。	運営規程、利用者負担等について契約時にご説明させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6						モニタリングやアセスメントの際に面談や話し合いを行い、お子様やご家族様の意向を確認しております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6						ガイドラインに基づいた計画作成を行い、保護者様からの同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1					毎回の支援終了時に、保護者様へのフィードバックを行っています。送迎を利用している方は毎回のフィードバックが出来ていないのが課題です。対策として、課題プリントや個別ノートに支援提供の内容を書いてお伝えすることもあります。又、土曜日や祝日の利用時にお伝えするようにしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6					保護者会を年に2回程度実施し、保護者同士の交流を図っている。	保護者様のアンケートを基に「Tomolに育つ会(保護者会)」を開催しております。来年度も開催予定ですので、ぜひご参加ください。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6						個別相談の申し入れがあった際は、即座に日時設定をし対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6						毎月「Tomodaより」やオフィシャルラインにて行事予定や連絡事項の発信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		1				個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			1		紙媒体だけでなく、電話、officialLINEを用いて連絡を行っている。	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	2				事業所内のイベントは利用児童のみの参加ですが、地域のイベントには積極的に参加しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6					定期的な研修を行い、年に2回の避難訓練を行っている。	各種マニュアルを策定し、研修を実施しております。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6						火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1					全てのお子様に対し、事前に服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6					アレルギーがある子どもが利用している際には、おやつを提供する際に材料の確認を行っている。	全てのお子様に対し、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触がおこらないように注意しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6						火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6						安全計画等についてご家族様に説明させていただいております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6					ヒヤリハットとなる出来事があれば、共有し、報告書を速やかに作成している。	ヒヤリハット事例が起こった際は、報告書を作成し、職員間で周知しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6						虐待防止マニュアルを作成し、年1回の研修を行っています。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6					身体拘束防止のためのマニュアルを策定し、年1回の研修を行っています。
----	--	---	--	--	--	--	------------------------------------